

## 第 2 学年総合カリキュラム

### 総合学習

# 「社会の役に立つこと，社会のためにできること」

#### 1. 二年次の総合学習を始めるにあたって

##### (1) 一年次の総合学習

昨年度，総合学習を始めにあたり私たち担任団がねらいとして意識していたことは，次の二つであった。

- 1) 自分たちが生きている社会や世界に関心を持ち，自分たち自身で課題を見つけ，それを調べたり話し合ったりして，さらに社会に対して自分たちができることを考える。
- 2) 学年全体で共通の課題に取り組むことで，学年としてのまとまりや学年内での交流を深めるとともに，仲間と協同して学習することの楽しさや大切さを知る。

ねらいの 1) に関しては，「世界の人々」という大テーマから四つの小テーマおよび各グループごとのテーマまでを生徒自身が決定することからはじまって，調べ学習，訪問学習を経て，最後にポスターセッションや個人レポートでまとめるというステップを踏んだ一連の学習を通しておおむね達成できたといえる。一方，ねらいの 2) に関しては，いろいろな場面で評議員を中心にして話し合いながら進めてきたため，学年全体で総合学習を作り上げたという達成感があった。しかし，個人ではない「グループによる協同学習」の意義を生徒たち自身がまだ十分に把握しきれたとはいえず，今後の課題として残った<sup>註)</sup>。

注) 一年次の総合学習「世界の人々」の実践については，「お茶の水女子大学附属中学校研究紀要 第31集(2001年)」123～135頁を参照。

##### (2) 二年次のねらいとミニ総合の実践

二年次にあたる今年度は，一年次の実践をふまえて，総合学習のねらいである上記の二つをさらに充実させることをめざした。特に，ねらいの 1) に関しては，社会に対して自分たちができることを考えるだけでなく，中学生の自分たちにできることを「実際に行動に移す」ところまで進めた実践をすることを重視した。また，ねらいの 2) については，「グループによる協同学習」の意義をいかに生徒たちに意識づけるかが鍵であり，「社会に対して実際に行動する」ことはグループによる協同活動を促しやすいと考えた。そこで，本格的な総合学習のスタートに先立って「ミニ総合」を行うことにした。

「ミニ総合」における重点目標は，次の三点である。

- ① 机上の空論ではなく，自分たちで実際にやれることを企画できる。
- ② グループのメンバーで積極的に協力しようとする。
- ③ 単発的活動で済ませるのではなく，ゴールへの見通しを持って次のステップに進むこ



## Let's play ミニ総合!!

## 七人寄れば文殊の知恵?メンバーの頭脳を結集させよう!

## ○進め方

全部で4ゲームがあり、班ごとに各ゲームの得点を加算していく。さらに、4ゲームが終了した後「ファイナルクイズ」があり、4つのヒントが用意されているが、ヒントをいくつももらえるかは最初の4ゲームの合計得点によって決まる。つまり、最初の4ゲームで高い得点を取っておいた方がファイナルクイズを解くためのヒントをたくさんもらえることになる。

## ○ゲームの概要

## 第1ステージ「記憶ゲーム」(10分間)

生徒たちに拡大コピーの絵を見せる。最初は3秒間、間に1分間の作戦タイムを取って、次に5秒間見せる。記憶だけで何がいくつあったかを紙に記入する。物の名前が書けたら1点、個数まで書けばさらに1点もらえる。

## 第2ステージ「国名ゲーム」(15分間)

「あ・る・か・ん・ど・す」で終わる国名をできるだけたくさん書く。正解の数が得点になる。

## 第3ステージ「文字並べゲーム」(15分間)

約10個のバラバラのひらがなを並べかえて、意味のある文を作る。完全解答で1間につき5点もらえる。

例えば「い、お、か、が、た、の、や、ゆ、わ、ん」→「やかんのおゆがわいた」  
「い、い、か、ご、し、ず、つ、ど、は、む」→「どいつごはむずかしい」など

## 第4ステージ「測量ゲーム」(25分間)

測定器を一切使わずに、身体の長さや日常的な感覚だけで物の長さを測る。そして、測った物の長さを全部合計して「□.□m」の形で(小数第1位まで)答える。

測る物の例として「テニスコートに立っているポールの長さ」「技術室の机の長い方の一辺の長さ」「大グラの時計台の高さ」「アリーナの短い方の一辺の長さ」など

## ファイナルクイズ (15分間)

ヒントから想像して8文字の物の名前を答える。第1～4ステージの得点合計によって、もらえるヒントの数が異なる。最初に答えがわかった班が優勝!

どのゲームも班員で協力した方が高い得点を得やすいことが生徒たちにもすぐわかったので、取りたてて「班のみんなで協力しなさい。」といった類のことばがけをする必要もなく、自発的に積極的に協力し合う体制が生まれたのは大きな成果だった。また、個々のゲームは形態も内容も全く違うものであるが、「ステージ」ということばに象徴されているように、次のゲームに進むに従い班員同士の協力の度合いが高まっただけでなく、ファイナルクイズで

の勝敗に影響するという意識から、先のことを考えながら各ステージのゲームに取り組んでいたのが印象的だった。「ミニ総合」の重点目標の三点は達成できたといえる。

### (3) 総合学習実行委員会の設置

総合学習を進めていくにあたり、生徒側の中心になる組織が必要になる。昨年度は、便宜上各クラスの評議員（計8人）を中心に進めた。今年度は、全員の生徒の中から総合学習実行委員を募り、その実行委員会を中心に企画、運営をまかせることにした。それは、昨年度の実践を通じてどの生徒も総合学習がどのようなものかを把握できているし、また、生徒自身の力で創り出す総合学習により一層発展させたいという理由からである。

総合学習実行委員を学年全体で募集したところ、15名（男子8名、女子7名）の立候補が出た。話し合いを考えたとき15名という人数は多少多過ぎるのだが、立候補した生徒たちの意気込みが学年全体の取り組みにプラスに働くことを期待して、15人全員を実行委員にすることにした。

### (4) 課題の設定と小テーマの決定

生徒たち自身の手で進める総合学習においては、課題の設定はとても重要である。今年度は特に、社会に対して自分たちができることを考えて「それを行動に移す、実際にやってみる」ことに重点をおこうというねらいから、まず教師側の方から大テーマとして「社会の役に立つこと、社会のためにできること」を生徒たちに提示した。

次に、実行委員会の中でこの大テーマを検討し、この大テーマの中でどのようなことができるか、どのようなことをしていきたいかの案を考えた。そして、実行委員会で考えた案をもとに学年でアンケートをとり、さらに実行委員会での検討とクラスでの話し合いのやり取りを繰り返した。その結果決まったのが、次のような小テーマである。

〈小テーマ〉

- フリーマーケット
- 幼稚園で子どもの世話をする
- ボランティア…①募金 ②放置自転車 ③ゴミ拾い ④老人ホーム ⑤ NGO

これらの小テーマを決定していく過程で、実行委員たちは実に様々な意見を出し合って検討した。例えば、クラスの話し合いで出てきた「幼稚園へ行くことがなぜ社会のためになるのか？」という反論にどう答えるか、またアンケートから新たに希望として出された放置自転車や NGO を採用するかどうかなど、実行委員会の内部でも意見を戦わせる場面が多く見られた。実行委員のメンバーたちの健闘ぶりは、小テーマ決定までに発行された「総合学習便り」（実行委員会が作成、発行）が7号まで数えたことにもよく表れている。このような話し合いができるようになったことにも、生徒たちの成長をうかがうことができた。

## 2. 学習指導計画と主な活動記録

11月～3月にかけて、総合カリキュラムの時間を中心に指導計画を考え、次のように実施した(表1参照)。3月の「総合学習週間」は、3日間とも1日中総合学習に時間を当てている。また、アンケートや簡単な報告等は朝のミニ総カリ(15分)などを随時活用したり、実行委員会の話し合いは放課後の時間を使っている。

表1 <指導計画(実施記録)>

11月15日	ガイダンス および「ミニ総合」のプラン作り ①②
11月19日	「ミニ総合」の実践 ③④
11月26日	テーマについての話し合い ⑤⑥
12月10日	グループ作り および計画書作成 ⑦⑧
1月21日	グループごとに準備 ⑨⑩
1月28日	同上…打ち合わせや訪問先との交渉などを続ける。⑪⑫
	また、自宅学習期間の活動の最終打ち合わせ。
	* 2月3日～7日 中学入試期間のための自宅学習期間
	→グループごとに訪問先へうかがって相談したり、実際に活動を行う場所などの下見を行う。
2月14日	入試期間の活動の報告書作成 ⑬, 各グループの活動状況報告会 ⑭
2月20日	グループごとに準備…3月の「総合週間」に向けての準備 ⑮⑯
3月7日	グループごとに最終準備 ⑰⑱
3月10日, 12日, 13日	「総合学習週間」…この3日間は、朝から放課後まで1日中総合学習を行う。
3月18日	学年報告会(グループによるポスターセッション方式) ⑲
	*グループごとに作成したレポートを4月までに編集

## 3. 「総合学習週間」の設定

### (1) 「総合学習週間」を設定した理由

今年度の総合学習は、上述したとおり、「自分たちにできることを実際に活動する」ことに重点をおいてスタートした。つまり、グループごとに社会で実際に活動することが、今回の総合学習のメインなのである。

社会の中で実際に活動するとなると、社会が相手になるので、学校の中だけで活動する場合と比べ、様々な制約が当然多くなる。また、自分たちがどこでどんな活動をするのかは、グループごとに生徒たち自身で交渉してさがし出させることにしている。従って、総合学習を行う活動場所や時間等に関してある程度余裕を持った設定が必要であると考えた。社会の

中での活動には様々な制約があることを生徒たちに認識させると同時に、そのような制約を排除できる時間を確保することで生徒たちが社会と交渉しやすいようにするというのが、平日の朝から放課後まで自由に使える日を3日間も「総合学習週間」として設定した一番の理由である。

また、グループごとの活動をメインにした場合、どうしても視野の広がりに限られてしまうことも予想された。「社会のためにできること」という大テーマのもとでの活動とはいえ、自分たちのグループの活動内容を越えてより広い視点から社会全体をとらえること、即ち自分たちが行った活動が社会のどの部分と関わりがあるのかを把握したり、自分たちがやったような活動以外にもどんな活動がどんな人たちによって実際行われているのかを知ったりすることは、生徒たち自身の力ではなかなか難しいといえる。そこで、生徒たちが自分たちの活動を振り返り、より広い視点から考えることができるように、教師側の提案で専門家の方々による「講義(特別授業)」を設定することにした。専門家の方に直接学校に来ていただいたり、生徒たちができるだけ少人数で講義に参加できるようにしたりするためにも、やはり時間的な余裕が必要である。3日間の「総合学習週間」の設定の理由には、この「講義」も関係している。なお、「講義」を担当してくださったのは、次のような8つの団体(または個人の方)である。

3月12日(水) 午後	
①セーブ・ザ・チルドレン	②文京区国際協会
③NPO法人エココミュニケーションセンター	④幼稚園教諭
3月13日(木) 午後	
⑤ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし	⑥日本国際ボランティアセンター
⑦東京ボランティア市民活動センター	⑧毎日新聞記者

## (2) 「総合学習週間」に向けての準備

1月に入ってから、3月の「総合学習週間」に向けての本格的な準備を始めた。このように早くから準備段階に入ったのは、生徒たちに自分のグループの具体的な活動内容を考えるのと並行して、社会の様々な人たちと交渉する時間を確保するためである。

案の定、自分たちで考えた活動内容はいつ、どこでなら実現可能なのか、活動を行うにあたり手続きや許可は必要なのか、最初の案通りに行かなかった場合次をどうするかなど、解決しなければ先へ進めないことも多く、実際に活動する内容が決定するまでにはかなりの時間を要した。また、実際の活動で使用するもの(例えば、幼稚園で園児と遊ぶためのおもちゃや募金活動用のポスターや募金箱など)を作成したり、下調べをしたりなど準備の時間も必要であった。もちろん、中には順調に交渉や準備が進んだグループもあったので一概には言えないが、指導計画としてたてた準備期間はますます妥当であったと評価している。

次の資料2～資料5は、「グループごとの準備」の時間の記録の一部を時系列で並べたもの

である。また、表 2 は、交渉や下調べなどの準備の結果決定した各グループごとの活動一覧である。

<資料 2>

# 総合学習グループ別活動 ①

H15.1.21

2年

各グループ注意するところ

- ① フリーマーケット
  - ・15人前後の人数で参加可能か? (団体や区に必ず聞く)
  - ・いつやる予定か?
  - ・団体や区でフリーマーケットの予定か?
  - ・無い場合どうするか?
  - ・品物の集め方は?
  - ・集まらばお金の集金先は?
- ② ボランティア
  - ・どの団体に集金するか? (集金) (どこで集金するか? (集金場所にも聞いておいておく))
  - ・どこでいつゴミ拾いするか? (ゴミ)
  - ・拾ったゴミはいつ捨てるか? (ク)
  - ・どこでゴミを捨てるか? (老人ホーム)
  - ・なにをしたいか? (ク)
- ③ 幼稚園
  - ・何をしたか?
  - ・どこで幼稚園にいつ行くか?
  - ・人数は問題あるか? (必ず交渉先に聞く)
- ④ 放置自転車
  - ・いつどこでやるか?
  - ・何の目的か?
  - ・ボスターなどは必要か? (交渉先に聞く)
  - ・他グループと場所を重ならないか?
- ⑤ NQO
  - ・どこにNQOに行くか?
  - ・具体的に何をしたか?
  - ・何をやるか? 目的か?

今日(1月21日)の活動予定

- ① 活動内容を「総合学習計画表」に基づいて詳しく定める  
いきなり相手に交渉することはできないので、「いつやるか、具体的にどんな事かしたいか」など決めておく。  
また、入試中に活動予定もある。
- ② 電話交渉先を調べる  
①にあわせた交渉先の電話番号や住所を調べる。(コンピュータ室利用可)  
2つ以上の候補をあけておく  
入試中に訪問可能かを調べる
- ③ 電話で「いっしょに別紙(グループ別紙)」を書く  
今回は、必ず③まで終らせ、代表者がこのプリントと④のプリントを担当の実行委員まで出して下さい。  
③まで終ってしまったら、④のプリントを担当の実行委員が先生に見せて、電話交渉をする

- \* 3月10、12、13の3日間は「総合学習週間」。  
この3日は1日使って総合学習の活動を行う。  
各グループで1日を使い、実際の活動を行う(残り2日は準備やまとめなど) 18日に発表会。
- \* 入試中は...  
2/4 午前中、2/5 午前、午後 2/7 午後  
活動可能。2/3、2/6 は全日使えません。  
活動時間は午前中9時~12時と午後1時~4時です。

グループ名 ラビビオオオ♡ヒテマク 募金 >

交渉先候補

- ・グループ イフカンズ  
電話 03-5425-3631  
for:01999200 http://www.unicef.or.jp/
- ・グループ エンゼル  
電話 0120-88-1052  
FAX http://www.orphans-kids.jp/
- ・ピースボート  
03-3363-7561  
http://www.peaceboat.org/office/index.html

## 活動日記 1月21日

グループ名 何でもE→じゃん。

記入者

今日の活動内容 (できるだけ具体的に詳しく書く)

清掃局の電話番号をきく。  
電話用の原稿をかき、  
ルートをきめる

今回から次回までの予定

清掃局に、電話して東京都のゴミの状況の資料をFAXしてもらう。

困っている事、その他

なし

▶ 各担当の実行委員まで

## グループ名 何でもE→じゃん >

<電話の内容>

もしもし、お茶の水女子大学附属中学校の2年の  
— といいます。今、学校の活動で「社会に役立  
とう」という総合学習という授業で私達は、春日通い治いの  
ゴミ拾いをしようと思っています。清掃局のゴミ拾いが必要  
なのでしつぷか? → No. 清掃局 担当の方をお呼びできずでは  
私達は、3月10、12、13日のどけかに活動しようと思ってい  
のですが、それはいかかでしょうか? できれば、日中活動し  
たいのですが、ゴミは持ち帰って、学校ですようと思  
い場所は茗荷谷のスーパーサントの前からJR大塚駅前なん  
ですけれど、よろしいでしょうか?

(→ もし その場が分からぬ場合は、こちらの電話  
番号を覚えて FAX をしてもらう。)

実は、そのためにうれしい資料をいたしたいのですが、  
文京区のゴミ問題の資料をどうしたらいいか  
ますか?

お礼がどうもさうでした。では、その日時をお願いします。

- ・自分もこの難題があるようになっているか?
- ・学校の何の時間でも自分もなにしているかあるかどうしているか?
- ・いつ、どのような目的で訪問(もしくは集金に協力したリ、フリーマーケットを行うか)するか、明確になっているか?
- ・相手に失礼のない言葉を使っているか?

〈資料3〉

活動記録 1月 28日

グループ名 しよにーず Jr.

記入者

今日の活動内容 (できるだけ具体的に詳しく書く)  
 ・北区役所に電話 → OKされた。  
 ・赤羽警察署に電話 → 「今後打ち合わせに来て下さい」と言われたので、これから日時を決める。

今回から次回までの予定  
 打ち合わせの日時を決め、警察に電話。  
 赤羽駅に電話。 → いっ? 2月5日の午後には打ち合わせに行く。

困っている事、その他  
 なし。

活動記録 1月 28日

グループ名 feel well

記入者

今日の活動内容 (できるだけ具体的に詳しく書く)  
 ・下見するときの待ち合わせ場所、日時決定  
 → 護国寺のお茶大方面出口、9:10分 待合せ  
 ・どんな遊びかをやるか考える  
 → ・〜ゴニ ・なわとび ・砂遊び(山, 城, 川, 田子  
 ・ホニル遊び ・クジマ ・フリスビー  
 ・わなげ ・おり紙(ハニカ+α) ・動物の世話  
 ・にせもの花作り、絵本の読み聞かせ ・歌を歌う(せんだいであらう)

今回から次回までの予定  
 訪問先: 赤羽幼稚園  
 日時: 2月4日  
 ×ンバー: 赤堀, 如治木, 鎌田, 栗原, 西村, 福田  
 目的: 子供の間で人気の遊び, 幼稚園設備の下見

困っている事、その他  
 特になし

〈資料4〉

総合学習 入試期間の報告書

Q1. 入試期間中にそれぞれのグループでしごとを報告して下さい。(丸を付けてね)

(訪問・下見・準備)  
 例: 募金箱作り

Q2. Q1で訪問、又は下見を選んだグループはどこへ行きましたか?

(品川公園のバス & 麻布十番のバス)

Q3. Q1で訪問を選んだグループに質問66

① どんな内容のことを質問して、どんなことが分かりましたか?

① 行き先と人数を伺った。  
 → せむちもって下さい。 → 注意は? → 活動場所  
 → どのようにお金を募りかまはしいのか? → には下見は行って  
 → 金集りに来りて。資料ももらった。 → 2月6日  
 → どの日は来てかまはしいのか? → 参り書ももらった。  
 ② その外に、訪問した時に気付いたこと、困ったことがあれば書いて下さい。

② 少したけ人が少ないのでお金の集まりにくい。 → 下見OK

Q4. Q1で下見を選んだグループに質問66

① 下見をして分かったこと、得られた情報を報告して下さい。

(麻布十番は9人が参加してくれて人が少ないので「大森」に来た。お泊りにも0202も来た。はいはいには行って資料(書類)ももらった。

② 下見をして困ったことや気付いたことがあれば書いて下さい。

(はいはいには書類を提出しなくてはいけなかった。 ⇒ 平日AM8:00~3:00から。生徒にはスリッパ)

Q5. 全てのグループへ。

Q1で行ったこと3月の活動方針ややり方で参考になったこと、3月の活動内容を書いて下さい。[スベ-2002年3月の活動]

1日 → 実際は「大森」で募金活動。  
 2日 → 前回の反省、お金の計算など。来てもいい。  
 3日 → 来てもいい。  
 3月の活動日(3/9, 3/10, 3/11)  
 3月10日

テ-2別: 募金活動。 代表者:  
 グループ名: Come on 志葉yena



〈資料 5〉

# 活動計画書

3月の10日、12日、13日の活動計画書を作成して下さい。

	午前	午後
3/10(月)	A	B
3/12(木)	C	①
3/13(木)	D	②



A～Dの時間は各グループでやらなければいけないこと、フリ準備、実際の活動、まとめなどの時間に使って下さい。

①、②の時間は講義の時間にしたいと思えます。では講義とは…？それは、今回の総合学習にちなんで、先生方が講義をしてくれる人を呼ぶので、その講義を私達が聞く、ということですね。なぜ①、②と2日間もあるのかという、どちらかを実際の活動の時間として使っているグループがあるので、①、②のうち、どちらかの時間を選択してとってもらうためです。それでは実際に計画を立てていきましょう。⇒ \*フリマの人はその日に活動がないので両方して下さい。〇〇

A	3/10 午前	(ネムプレートを作る。 本を愛情を込めて読む。(練習))
B	3/10 午後	(おり紙の練習。 あやとりの練習。)
C	3/12 午前	(ぬり紙を作る。)
D	3/13 午前	(子供と遊ぶ。 ② 8:15～12:15)
①	講義を とる	(講義をとらない→何をやる?)
②	講義を とる	(講義をとらない→何をやる?) (まとめ)

↑を付けておぼ 書き終わった2U松本  
まで66 2/20 中に出して下さい。

グループ名: THE SAMURAI  
長名: シンル名: 玄力 維園

表2 〈グループ活動ごとの一覧〉

グループ名 (小テーマ)	活動場所	活動内容	活動日時
1 テイクソングズ (フリーマーケット)	文京区民センター	「BIA ちいさな地球村のつどい」でのフリーマーケットに出店。収益金はユニセフに寄付。	3/1 (土)* 10時～5時
2 フリ男の衆 (フリーマーケット)	礪川公園 (後樂園駅そば)	文京区主催のフリーマーケットに出店。収益金はUNHCRに寄付。	3/16 (日)* 10時～3時
3 ねえママ買って (フリーマーケット)	礪川公園 (後樂園駅そば)	文京区主催のフリーマーケットに出店。収益金はユニセフに寄付。	3/16 (日)* 10時～3時
4 ももchan (幼稚園)	湯島幼稚園	幼稚園の先生の仕事を手伝う	3/10 (月) 9時～3時
5 feel well (幼稚園)	音羽幼稚園	幼稚園の先生の仕事を手伝う	3/13 (木) 9時～12時
6 THE SAMURAI (幼稚園)	諸聖徒幼稚園	掃除、園児たちと遊ぶ、絵本を読んであげるなど	3/13 (木) 8:15～12:30

7	BEAN (幼稚園)	後楽幼稚園	園児と触れ合う, 園児の 帰宅後は力仕事など	3/10(月) 8:30~5:00
8	キャラメル pop (募金)	御茶ノ水駅 巣鴨駅	セーブ・ザ・チルドレン への募金	3/10(月) 13(木) 9時~1時
9	ラッピーポ (募金)	巣鴨駅	ユニセフ募金	3/10(月) 10時~3時
10	Donasion's 2 (募金)	新宿駅	緑の羽の募金	3/10(月)12時~2 時, 13(木)10時~12 時
11	LOVE 涙色 2003 (募金)	有楽町駅	あしなが育英基金への募 金	3/12(水) 1時~4時
12	come ☆ on 屯 萬 yen (募金)	六本木交差点	ユニセフ募金	3/10(月) 1時~3時
13	CHERRY BEANS (募金)	池袋駅 御茶ノ水駅	セーブ・ザ・チルドレン への募金	3/12(水)10時~12 時, 13(木)10時~12 時
14	よっこ→たち (放置自転車)	池袋駅周辺	放置自転車の撤去作業の 手伝いと処理場の見学	3/13(木) 9時~12時
15	Kosaasshiyo (放置自転車)	護国寺駅周辺	放置自転車の撤去作業の 手伝い, 放置自転車の数 と放置場所を調べる	3/10(月) 8時~9 時, 12(水)と13(木) の朝
16	じょにーず Jr. (放置自転車)	赤羽駅	放置自転車削減の呼びか けとビラ配り	3/10(月) 1:30~3:00
17	何でも E → じゃ ん(ゴミ拾い)	新大塚駅と茗荷谷 駅の間の歩道	ゴミを拾い, 分別して捨 てる	3/10(月) 9時~12時
18	WORLD (ゴミ拾い)	隅田川沿い	ゴミを拾い, 清掃局に 持っていく	3/12(水) 12時~3時
19	N&N's (老人ホーム)	白山の郷特別養護 老人ホーム	施設の清掃, 昼食後は いっしょにゲーム	3/10(月) 10時~3時
20	KEVIN (NGO)	大塚緑の図書室と 附属小学校	フリー・ザ・チルドレン の活動を説明したポス ターを設置してもらう	3/13(木)
21	OH! マイキー 一家 (NGO)	学校内	日本国際ボランティアセ ンターの「イラクの子ど もたちに送る絵のキャン ペーン」の手伝い	2/28~3/8*

\*印についての補足

フリーマーケットに出店するにあたり, インターネットや区の広報などでさがしてみたが, 「総合学習週間」の期間中, 即ち平日に開催される適当なフリーマーケットは見つからなかった。そのため, 例外として日曜日の活動を認めることにした。なお, フリーマーケットに出店するためには主催者側にハガキで申し込み抽選に当たらなければいけなかったが, 運よく3グループとも当たることができた。また, 「イラクの子どもたちへの絵のキャンペーン」に関しては, 切が3月10日であったため, 予定を早めて活動を行った。

(3) 「総合学習週間」の活動の実際

「総合学習週間」の3日間をそれぞれのグループがどのように活動したかは、表3の通りである。学校の外に出た活動は、多くの人々が行き来する場所であることや現金を扱うグループも多いことを考慮して、必ず教員が一人引率した（ただし、幼稚園と老人ホームは建物の中での活動ということもあり、相手側において教員は引率しなかった）。また、表中の白い部分は、活動の準備やまとめ（学年報告会のためのポスター作りやレポート作成）をしていた時間である。

〈活動の様子〉

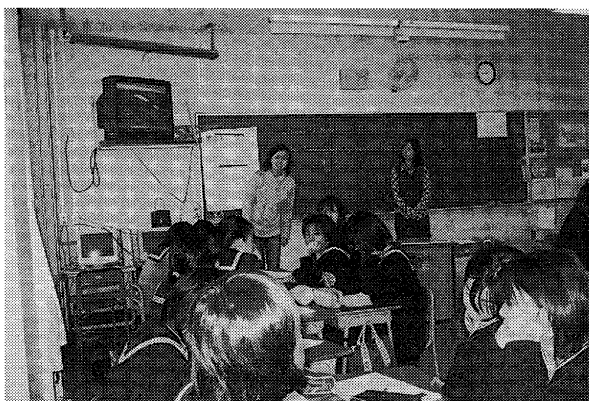
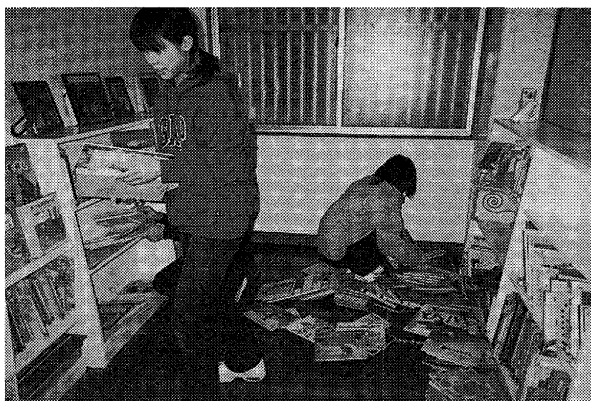
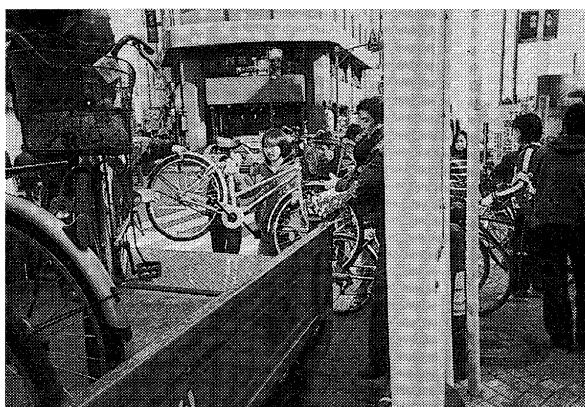


表3 〈総合学習週間のグループ別活動表〉

日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	㉑	
月曜日	ティクソンズ	フリ男の衆	ねえママ買って	ももchan	feel well	TEEN&MUSIC	BEAN	キワナルDD	ラッパ	DOOR	LOVE派色2003	お茶の水女子大学	SHIMAZU EICHA	よここーたち	お茶の水女子大学	じよーすJr.	何でもEとじん	WORLD	N&N's	KEVIN	オトマイキ一家
8:20	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼
9:00				直接幼稚園へ			移動	移動								移動	移動		移動		
10:00				通鳥幼稚園			後菜幼稚園	初茶水駅	果糖駅										白山の郷老人ホーム		
11:00										屋食移動											
12:00	屋食	屋食	屋食		屋食	屋食				屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食
13:00	屋休み	屋休み	屋休み		屋休み	屋休み				屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み
14:00				学校へ			学校へ					六本木交差点				担当香本校					
15:00	清掃終了	清掃終了	清掃終了	学校へ	清掃終了	清掃終了	清掃終了	学校へ	学校へ	清掃終了	学校へ	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了
5時終了 学校へ連絡																					
8:20	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼
9:00							移動									池袋駅					
10:00							果糖駅														
11:00																					
12:00	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食
13:00	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み
14:00	講義①	講義②	講義③	講義④	講義⑤	講義⑥	講義⑦	講義⑧	講義⑨	講義⑩	講義⑪	講義⑫	講義⑬	講義⑭	講義⑮	講義⑯	講義⑰	講義⑱	講義⑲	講義⑳	講義㉑
15:00	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了
4時終了 学校へ連絡																					
8:20	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼
9:00				直接幼稚園へ			移動									池袋駅					
10:00				音羽幼稚園			果糖駅														
11:00																					
12:00	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食	屋食
13:00	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み	屋休み
14:00	講義①	講義②	講義③	講義④	講義⑤	講義⑥	講義⑦	講義⑧	講義⑨	講義⑩	講義⑪	講義⑫	講義⑬	講義⑭	講義⑮	講義⑯	講義⑰	講義⑱	講義⑲	講義⑳	講義㉑
14:30	学年全体での卒業式の歌の練習																				
15:00	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了	清掃終了

資料6 〈フリーマーケットに参加するグループが作成し、全校生徒に配布したチラシ〉

2年の総合学習でフリーマーケットをします〇〇

テーマは「社会の役に立つこと」〇

準備から申し込みまで、すべて生徒自身で行っていただきます〇

団体名は  
〇ねえママ買って  
〇フリー男の衆 ござ

# フリーマーケット

〇店、出店しています。

〇場所〇  
れません こうえん  
**石楽川公園**  
(丸)内線後楽園駅の隣り)

〇日時〇  
3月16日(日)  
AM10:00~PM3:00

集まったお金は全てユニセフに基金します

誰? 

しあなものをやお得なもの、色々あるので、おほれ

ぜひみなさん来てください!!!

ビックリ ビックリ ビックリ  
雨天中止  
車では来れません

4. 成果と課題

本格的な総合学習に先立って「ミニ総合」を行ったことは、総合学習の二つのねらいをさらに充実したものにすることで非常に効果的な助走の役割を果たしたといえるだろう。また、今年度初めて生徒たちの中から総合学習実行委員を募ったが、総合学習を企画、運営していく率先力として大いに活躍してくれた。もちろん15人という人数はやはり少し多かったことは否めないし、男子の実行委員の中には初めてリーダー的な立場になった生徒もいて、学年全体を見通す視点をなかなか持てずに苦労したこともあった。しかし、打ち合わせや準備、学年への説明など、実行委員の生徒たちによる働きは、量の面でも質の面でも昨年の評議員の生徒たちのそれを格段に上回っていたといえる。

さらに、「社会のために自分たちができることを実際に活動する」という点に重点をおいて総合学習を組み立てたことは、様々な意味で成果をもたらした。まず、実際の活動ではグループで協力する効果が顕著に表れるので、昨年度からの課題である「グループによる協同学習」の意義が生徒たちに意識づけられただけでなく、実際にグループ内で協力する場面が数多く見られた。また、様々な人たちと交渉をしなければいけない状況に否応なくおかれたために、初めての人とコミュニケーションする楽しさを知った生徒も多かった。それだけでなく、色々な方々にお世話になったり、多くの人の善意に触れたりする機会も多かったため、自分たちの活動に

対する生徒の満足感や充実感が一層高まったといえる。それからまた、社会における問題について資料だけで調べるのとは違い、実態を知る機会にもなったため、社会のために自分たちができることは何かを考える上で視野を広げる効果があった。

その一方で反省点もある。実際の活動を実現させるために時間を多く割いたために、自分たちの活動内容に関してじっくり調べたり、検討したりすることが十分できたとはいえない。また、フリーマーケットのグループは、人数が15人前後と多かったために、準備段階では全員で協力したり分担したりすることがうまくできず遊んでしまう生徒も見られた。調べ学習と実際の社会活動をより一層効果的に組み合わせた総合学習を創り出すことが、今後の課題のひとつである。

また、総合学習の評価をどうするかも大きな課題として残っている。総合学習を通してどんな力を生徒たちに身につけさせたいのか、どんな能力が培われるのかを、実際の総合学習の内容に応じて具体的に検討し、実践後にそれらの力がどの程度達成されたのかを判断する評価方法を構築していく研究をさらに進めていきたい。

(文責 佐々木善子)